

## 水産統計情報の研究・マネジメントへの活用 — 情報利用技術とユーザーニーズの融合—

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 水産大学校 公開日: 2025-01-14 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 楢取, 和明 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2012644">https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2012644</a>

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



# 水産統計情報の研究・ マネジメントへの活用

—情報利用技術とユーザニーズの融合—

水産情報経営学科 楢取 和明

## ●研究の目的

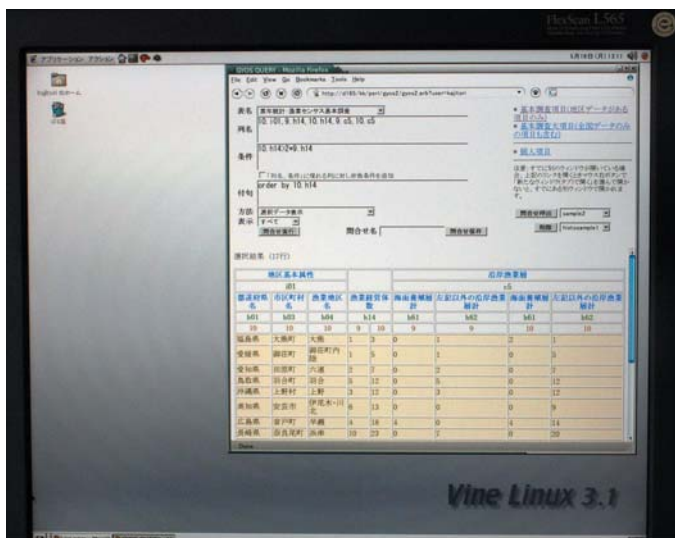
漁業センサスなどの統計データを有効に利用する分析ツールを、「何が出来るか?」、「何がしたいのか?」というユーザの視点で捉え、開発することが本研究の目的です。

## ●研究の成果と水産業界等への貢献の期待

ウェブサイト上の分析ツールに簡単なコマンド(命令)を与えてやるだけで、第6次漁業センサス(1978年)から第10次(1998年)までのデータを元に、クロス集計やカテゴリー毎の指数化、さらには時系列的分析など、従来ではコンピュータの専門的知識がないと出来なかった作業を、インターネットでのウェブ検索の感覚で行えるものとなりました。

実際に、「漁業センサス」の検索システムを使うことで、ユーザが知りたいニーズ、例えば、漁業地区毎の年齢構成やその経年変化、漁獲高階層と漁業種類の構成と言った結果を簡単に得ることができます。従って、漁業地域の現状を即座に数値として把握できるため、地域漁業の実態把握が効率的に出来るなど、地域の漁業行政の施策などに有効に使えます。また、水産白書などの基礎データの整理に欠かせないツールなどとして、水産業界の多方面で利用できるものと思われます。

この程、新設された水産情報館は、この漁業センサス分析ツールが基礎となっています。ここでは、さらに漁獲高統計や水産物流通統計など他のデータと結合させて有効に利用出来る新たなツールの開発・研究を行っていきます。



漁業センサス		漁業センサス		漁業センサス		漁業センサス		漁業センサス		漁業センサス	
年	区	年	区	年	区	年	区	年	区	年	区
1978	1	1979	1	1980	1	1981	1	1982	1	1983	1
1984	1	1985	1	1986	1	1987	1	1988	1	1989	1
1990	1	1991	1	1992	1	1993	1	1994	1	1995	1
1996	1	1997	1	1998	1	1999	1	2000	1	2001	1

### 【参考文献】

1) 楢取 和明 ほか:漁業センサスをはじめとする水産関連電子データの利用手法に関する一考察,農林統計調査, 50(8)、19-32(2000)。